

○ 佐賀市（下水浄化センター）は、下水処理の工程で発生した汚泥に廃白土、超高温好気性細菌群（YM菌）、食品会社の発酵副産物（P菌体）等を添加し、汚泥発酵肥料「かんとりースーパー佐賀」を製造、2 円/kgで販売。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

下水汚泥



・ 汚泥発酵肥料
「かんとりースーパー佐賀」

■ 作物 ■ 主成分の含有量（%）、特徴等

園芸作物

N	P	K	ケイ酸	C/N比
2.9%	4.5%	0.5% 未満	7.9%	4

(R4年度平均値)

脱水汚泥に廃白土、YM菌、食品会社の発酵副産物（P菌体）等を添加し、品質向上！におい軽減！

■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

- ・ 余剰汚泥を焼却処分していたが、焼却施設の老朽化にあたり、環境面とコスト面の両立を目指すため、下水汚泥の肥料化施設に転用。

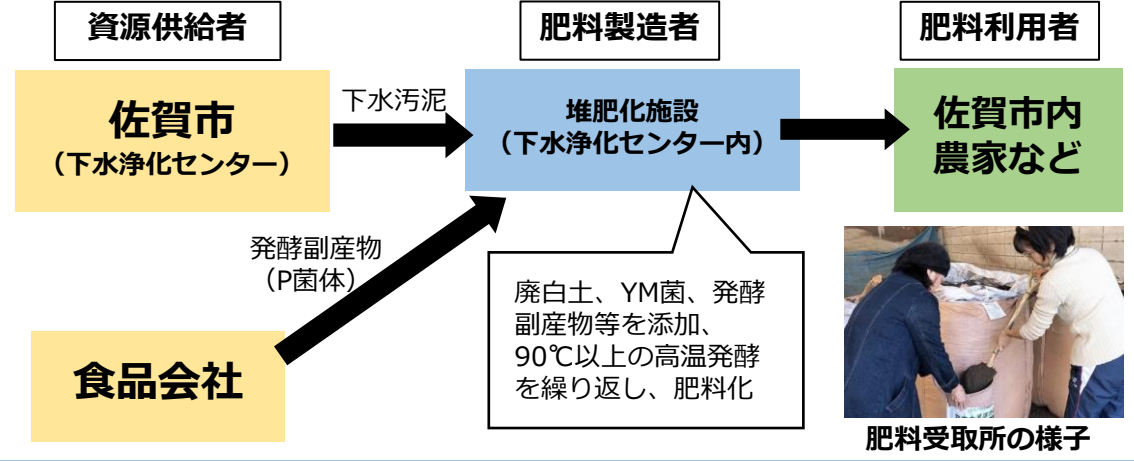
取組の内容

- ・ NPO法人等と共催で農業勉強会を開催し、下水汚泥肥料の有効性を農業者や市民に説明。
- ・ イオン九州で開催された「佐賀うまいものフェア」に下水汚泥肥料で栽培された作物を出店。
- ・ 下水汚泥肥料を活用した農作物を「じゅんかん育ちin佐賀」としてブランド化。

取組の成果

- ・ レタスでの栽培比較試験では、化学肥料区と比較して、可食部のみならず、根部も顕著に大きくなった。
- ・ 汚泥肥料を使用したアスパラ農家では、土づくり・病虫害防除にかかる経費を88%削減。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ・ 普及展開には下水汚泥肥料のイメージアップが必要。



食と下水道の循環
BISTRO下水道
ブランドネーム
じゅんかん育ち



イオン九州販売風景